

接客力を商討で磨く

【特集】半強制的に接客の場数を踏ませる商品の仕掛け

月刊食堂

The
Food
Service
Management

2020
5

商品に接客力を磨く仕掛けを潜ませる

接客の場数を踏ませる

45

»» 接客の仕掛け <<



名物おでん盛 780円



ダイコン】3人の「手本」をついた名物商品。ダイコンがけておでんなどに、本当に味を詰め込める。】
平日午後】通常販売。】
ニーに並んでおり、売り切れる可能性がある。】
円形丸せんべい】
50円7000円
月別販売コスト】
913円
月別販売コスト】
1=8059円
単品販売率】
30%
月別販売】
65
月別販売】
54
月別販売】
10%
月別販売】
16

おにのフニメにするいきす名



チーズ×チーズ×チーズ 690円



豪華品の中では
ズーカー、クーパー、
ビュルムなど
で、もうこの
次で本影とされ
おり、それこそ
という実験だ。

A man in a dark t-shirt and blue pants is playing a large taiko drum with a wooden mallet. To his right is a large black bowl filled with bright red beans, likely adzuki beans. The background is white.

原始炭焼 いろり家 東銀座店
いくらの船上めし
並盛り2780円

汁べゑ下北沢店
炎の炙りメサバ 880円



博多炉端 魚男
目の前で作ります
玉子焼き 650円



入店から退店まで お客様とスタッフの接点を増やす



Soi | アジアンピストロDai 二子玉川店 | すっぴん 西荻窪 | 立呑み 焼きとん 大墨 サンロード蒲田店 | 原始焼 火鉢



緊急企画

コロナショックとどう向き合うか いま外食業ができること

ルボコロナショックの影響と対策 要覧 融資 納税 助成金 政府・民間支援策 アンケート速報 外食各社の新型コロナウイルス対策

業界を活性化する**若手トップ**

インタビュー

日本の顔

代表取締役

山本貞二氏



タイシコーポレーション(株)

「25万円の生ハムセラーでV字回復。ロイヤルカスタマーの支持を掘み 営業利益20%超えのモデルを確立した

生ハム1本を丸ごとキープする生ハムセラーの値段は1本25万円。目玉が飛び出るほどの高値でありながら、予約の順番待ちになるほど生ハムを売りまくっているのがイベリコ豚料理専門店「IBERICO-YA」だ。大阪府、東京都に外食3店とデリカテッセン業態1店を布陣。経営母体のタイシコーポレーション(株)はイベリコ豚を生産するスペイン・ハブリーゴの生産者と太いパイプを持ち、イベリコ豚血統100%の「レアル・ベジョータ」を日本で唯一輸入している外食企業だ。常識外れの価格を打ち出した生ハムセラーの発想をどう編み出していったのか。同社

Q 一本25万円の生ハムセラード。この価格で売ろうと考へたこと自体がまず驚きです。

身である『イベリコ屋』は2007年5月に1号店を出店し、最盛期には15店まで店数を増やしました。でも、内情は火の車。不採算店を抱える中で稼ぎ頭だった焼肉店が物件を更新できず、撤退を余儀なくされた。いよいよ後がなくなり、イベリコ屋のリブランドディングを決意したんです。

A 自分たちに残された武器がなにかを考え尽くし、出した答えがイベリコ豚血統100%のレアル・ベジョータを使った生ハムでした。レアル・ベジョータの生ハムはイベリコ豚の生ハムの中でもわずか2%しかない最高級品。イベリコ屋は生ハムに使用しないイベリコ豚のバラ肉などを使つた豚しゃぶが主力商品で、当社は現地の生産者と太いパイプを持つていたため、そこに活路を見出したわけです。

A ありませんでしたね。そこしか生き残る道はない、と。大阪・心斎橋のイベリコ屋・心斎橋店をIBERICO-YAに業態転換をして再スタートを切りましたが、1年近く赤字続き。転機になったのが店舗改装です。それまで1室だけだった個室を3室に増設したところ、売上げが跳ね上がりました。生ハムも3年熟成から4年熟成に変え、価格を20万円から25万円に値上げしたのですが、そこから売れ行きが

A 赤字なのにさらに値上げとは思
い切りましたね。

Q あとで知つたのですが、これ
は『行動経済学』における『バリ
ュープロポジション』という理論に則
った価格戦略だつたんです。数が少な
いものは価値が高いと考える『希少性
の法則』という消費者心理に紐づいた
理論で、そこに価値を見出すターゲッ
トに一点集中することが成功の鍵を握
る。IBERICO-YAは値上げのタイミング
で『52歳の男性経営者 年収18
00万円、優越感に浸りたい人』とい
うターゲットを明確に設定しました。
そして『その人が喜んでくれること』に
全精力を注いだことが、生ハムセラー
のヒットにつながつたわけです。

A 理論通りの結果が出た、と。

トイマークを細かく設定したのです。

Q ハムセラーの値上げ以外にどこに手をつけられましたか。

A 先ほど申し上げた通り、いちばんの変化は個室の増設です。生ハムセラーを購入されたお客様専用個室を用意していたのですが、予約が個室に集中した。そこで、個室を1室から3室に増やし、さらに個室の出入口を隠し扉にしてプレミアム感を強調しました。また、生ハムは必ずお客様の目の前でカットしますが、初めて生ハムをカットする時は『ファーストカット』としてお客様自身にナイフを入れていただきます。生ハムに木札をつけてセラーに並べますが、木札に記す名前は書道家の方に執筆し、生ハムを贈答品として贈れるように1箱2000円のオリジナルパッケージも

用意。設備、備品、サービスなどさまざまな手を尽くして生ハムセラーのプレミアム感を高めています。

A IBERICO-YAは大阪・心斎橋、北新地、東京・六本木に3店を展開しており、セラーで計62本の生ハム原本を保管しています。順番待ちのお客さまは2人。生ハムの保管期間は1年ですが、再購入される方も多く、だいぶお待ちいただいているため、セラーの増設も検討しています。

Q 生ハムセラーのみで年間1550万円を売っている計算になりますが、収益性はいかがでしょうか。

A 生ハムセラーの単品原価率は50%。そこにプレミアム感を高めるためのサービスコストが加わりますから、その点で収益性はあまりよくなっています。ただ、生ハムを購入されたお客様はIBERICO-YAにとってロイヤル

カスタマーといえる存在です。来店頻度が高く、新規のお客さまを連れてきてくれ、客単価も上がる。IBERICO-YAの営業利益は20%を超えますが、生ハムを購入したお客様が収益を支えてくれているのは間違いありません。

A 希少性が業態価値の核になつて、いますから、多店化には向きません。東京・銀座に旗艦店を構えたいという思いはありますが、それで出店は打ち止めにするつもりです。事業拡大の手段として重きを置いているのがEC事業です。16年に自社サイトを立ち上げて生ハムのギフトセットなどを販売していますが、19年5月期で売上高2億8000億円のうち、1億円をEC事業で売り上げています。IBERICO-YAのブランディングをさらに強化することで、早い段階で外食事業を超える売上げ規模にしたいですね。

Q 多店化の意向は。

規模 客單價 日商

生ハムセラードは3店で計62本の生ハム原本木を保管
する。生ハムを並べたショーケースは入口の目の前に
前など店内の目立つ位置に設置され、ライトアッ
プして存在感を引き立てている

山本真三氏の父親が経営していた食品卸会社を親会社とした外食事業会社として2003年7月に設立されたのがタイシコーポレーション株だ。カフェレストラン「BABYFACE Planet's」にフランチャイズ(FC)加盟し、そこで外食経営ノウハウを蓄えた後、05年9月に大阪・天王寺に独自開発の焼肉店「キング大志」をオープンした。店「イベリコ屋」を直営、FCの両輪で積極出店に乗り出す。最盛期には店数を15店に伸ばしたが、集客に苦戦。不採算店の整理を進めながら、イベリコ屋のリブランディングに着手し、11年10月に屋号を「IBERICO-YA」にリニューアルした。イベリコ豚血統100%の「リアル・ベジョータ」を用いた生ハム1本をキープする生ハム

山本氏は会社設立時から代表取締役を務め、イベリコ豚料理専門セラ—25万円を核とした展開モデルで業績のV字回復を果たした。

イシコー・ポレーション(株)の歩み

03年7月	タイシコーポレーション株設立	タイシコーポレーション(株)
07年5月	大阪・心斎橋にイベリコ豚料理専門店「イベリコ屋」心斎橋店をオープン。フランチャイズ展開をスタートして最盛期に店数を15店に伸ばす	大阪府大阪市西成区天下茶屋東 2-13-29 ☎06-6656-3116
08年9月	東京・六本木にイベリコ屋 六本木店をオープン	設立: 2003年7月 資本金: 1000万円
11年10月	イベリコ屋をリブランディングし、屋号を「IBERICO-YA」に変更	売上高: 2億8000万円(2019年5月期)
11年12月	東京・渋谷にデリカテッセン業態のIBERICO-YA 渋谷店をオープン	従業員数: 社員6人、パート・アルバイト23人
15年5月	大阪・北新地にIBERICO-YA 北新地店をオープン	